



【学校教育目標】

ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成
～支え、支えられ、仲間・人とともに挑戦・成長～

【めざす学校像】 ～よく見てよく聴く学校～

- ・人と協力して学べる学校（子ども）
- ・応援したくなる学校（地域・社会・保護者）
- ・相談できる学校（保護者）
- ・働きやすい学校（職員）

「しまね教育振興ビジョン」

- ・すべての子どもが学びの主人公
- 「一人ひとりを尊重する学校」
- ・実体験に根ざした本物の教育
- 「地域とともにある学校」
- ・挑戦心、探究心が育つ学校
- 「子どもも大人も学び成長する学校」

「大田市教育ビジョン基本構想」

- わが里を誇り大田と世界の未来を拓く
- ・生き抜く力を育てる
- ・「あるもの」を活かす
- ・地域を支え、創る

【めざす子ども像】 ～心豊かに挑戦、成長する子ども～

- ・自分を見つめ、自分も人も大切にする子ども～ 「私も友だちも、課題もあるけれどいいところもある」
- ・学びをつなぐ子ども～ 「やってみよう」「調べてみたい」「もう少し頑張る」
- ・人との関わりを大切にする子ども～ 「ありがとう」「いっしょに」「おはよう、こんにちは」

【めざす大人の姿～教育資源としての人】

職員・保護者・地域

- ・子どもを見守り環境を整える
- ・多様な価値を理解しようとする
- ・人との関わりを大切にする

【大切にする姿勢】

- ・よく見て、よく聞き子ども理解に努める
- ・わかる、できるを実感できる授業づくりを求める
- ・同僚、地域、保護者との連携、協働を大切にする
- ・職務に対する高い倫理観をもつ

☆取組の重点

【経営方針】 言葉を育む

- 学びをつなぐ子どもの育成
- 一人ひとりが安心して学べる環境づくり

- 小・中学校で連携した教育活動の推進
- 北三瓶を活かした教育活動の推進

☆`学びをつなぐ子ども、の育成

- 生徒指導実践上の4つの視点（自己存在感、共感的な人間関係、自己決定、安全安心な風土）に基づく授業づくり
→基礎学力・学習習慣の確立・心豊かに挑戦する学びへ
- ICT活用の推進
→個別最適な学びへ
- 図書館活用教育の推進
→語彙力、読解力の向上へ

☆小・中学校で連携した教育活動の推進

- 合同行事等による異学年交流の実施
→連続した発達、表現力の向上へ
- キャリア教育の充実
→9年を見通した計画的なキャリア発達へ
- 生徒会活動と児童会活動の連携
→自主性、自治能力の向上へ

☆一人ひとりが安心して学べる環境づくり

- 進路保障の取組の充実
→今(背景理解)と未来(たくましく生きるための資質、能力の育成)を支えることへ
- 自己肯定感を高める取組の充実
→自己理解と挑戦へ
- 職員、PTAの人権感覚の高揚をめざす研修の実施
→大人こそ隠れたカリキュラムへ
- 特別支援教育の視点からの授業づくり
→「わかる喜び」から「探究したい」へ

☆北三瓶を活かした教育活動の推進

- 地域の「ひと」「もの」「こと」の活用
- 本物に触れる機会、心動く経験の充実
- SDGsの意識高揚
- 道徳教育の充実
→ふるさとへの愛着、居場所を感じる経験、感性の醸成へ

研究主題

学びをつなぐ児童・生徒の育成 学びをつなぐ場面
【①個人 ②集団 ③異年齢・異世代との関わり ④教科間・学年間 ⑤生活】